株式会社ベッコアメ・インターネット

TCP 10000 番ポートへのスキャンの増加に関する注意喚起

平素より弊社サービスをご利用頂き誠にありがとうございます。

JPCERT コーディネーションセンターより、TCP 10000 番ポートへのスキャン増加に関する注意喚起が発表されております。

TCP 10000 番ポートは、ウェブベースのシステム管理ツールである Webmin の標準ポート として利用されることが多く、開発者によると Webmin は先日公開された GNU bash の脆弱性の影響を受けるとのことです。

現在、TCP 10000 番ポートを対象としたスキャンが継続していることから、今後も対策を 行っていないサーバが攻撃を受け、第三者への攻撃などに使用される可能性がございます。

Webmin をご利用中のお客様におかれましては、GNU bash および Webmin のバージョンについて、再度ご確認頂きますようお願い申し上げます。

なお、設定変更などにより生じた結果については、弊社では責任を負いかねますのであらか じめご了承下さいますようお願い申し上げます。

記

- ■対象 : 以下のバージョンの GNU bash および Webmin が脆弱性の影響を受けます。
  - GNU bash
    - Bash 4.3 Patch 28 およびそれ以前
    - Bash 4.2 Patch 51 およびそれ以前
    - Bash 4.1 Patch 15 およびそれ以前
    - Bash 4.0 Patch 42 およびそれ以前
    - Bash 3.2 Patch 55 およびそれ以前
    - Bash 3.1 Patch 21 およびそれ以前
    - Bash 3.0 Patch 20 およびそれ以前
  - Webmin

## - Webmin 1.700 およびそれ以前のバージョン

## ■対策

対策方法に関しましては、JPCERT コーディネーションセンターのホームページをご参照下さい。

https://www.jpcert.or.jp/at/2014/at140038.html

■本件に関するお問い合わせ

メールアドレス:<u>tech@bekknet.ad.jp</u>